

指定管理者評価表

様式1

1 基本情報

(1) 公の施設の名称																																					
堺市立健康福祉プラザ																																					
(2) 施設の設置目的																																					
障害のある方の地域生活を総合的に支援する拠点施設として、プール等の施設使用や各センター事業の実施を通じて、障害のある方の社会参加の促進や健康の維持・増進等を支援するとともに、さまざまな活動や交流等を通じて、障害のある方とない方の相互理解を深めることを目的とする。																																					
(3) 所管部局																																					
健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課																																					
(4) 指定管理者名																																					
堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団 共同事業体 (社会福祉法人 堺市社会福祉事業団、特定非営利活動法人 堺障害者団体連合会、公益財団法人 フィットネス21事業団)																																					
(5) 指定期間																																					
平成29年4月1日から平成34年3月31日（5年間）																																					
(6) 主な事業																																					
①市民交流センター事業（身体障害者福祉センターA型） 文化芸術教室、交流事業、ボランティア養成・育成、障害者施設の授産活動支援等 ②視覚・聴覚障害者センター事業（点字図書館・聴覚障害者情報提供施設） 点字・録音図書、字幕入りビデオ等の製作・貸出、手話通訳者・要約筆記者の養成・育成・派遣等 ③生活リハビリテーションセンター事業（障害福祉サービス事業所） 機能訓練、生活訓練、高次脳機能障害支援普及事業 ④スポーツセンター事業（身体障害者福祉センターA型） スポーツ・レクリエーション事業、障害者スポーツ大会の運営、全国大会への堺市選手団派遣等 ⑤施設使用許可業務 ⑥施設維持管理業務																																					
(7) 有料施設の有無																																					
有																																					
(8) 公募・非公募の別																																					
公募																																					
(9) 主な利用者	(10) 市内における受益対象者数																																				
身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳 特定医療費（指定難病）受給者証 小児慢性特定疾病医療受給者証所持者	70,297																																				
(11) 近隣の類似施設名及び当該施設の評価に用いられている指標																																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>プール</th> <th>体育館</th> <th>トレーニング室</th> <th>合計</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>堺市立健康福祉プラザ</td> <td>42,339</td> <td>17,751</td> <td>30,956</td> <td>91,046</td> <td>数値は平成29年実績</td> </tr> <tr> <td>大阪府立障がい者交流促進センター（フインテア 大阪）</td> <td>61,338</td> <td>23,172</td> <td>47,290</td> <td>131,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>大阪市長居障がい者スポーツセンター</td> <td>47,850</td> <td>39,577</td> <td>59,311</td> <td>146,738</td> <td>体育室利用者は小体育室を除く</td> </tr> <tr> <td>大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（7ミナ舞洲）</td> <td>57,872</td> <td>33,563</td> <td>24,799</td> <td>116,234</td> <td>体育室はアリーナ使用者数</td> </tr> <tr> <td>オーグスポーツ神戸福祉スポーツセンター</td> <td>44,062</td> <td>16,725</td> <td>36,035</td> <td>96,822</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		施設名	プール	体育館	トレーニング室	合計	備考	堺市立健康福祉プラザ	42,339	17,751	30,956	91,046	数値は平成29年実績	大阪府立障がい者交流促進センター（フインテア 大阪）	61,338	23,172	47,290	131,800		大阪市長居障がい者スポーツセンター	47,850	39,577	59,311	146,738	体育室利用者は小体育室を除く	大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（7ミナ舞洲）	57,872	33,563	24,799	116,234	体育室はアリーナ使用者数	オーグスポーツ神戸福祉スポーツセンター	44,062	16,725	36,035	96,822	
施設名	プール	体育館	トレーニング室	合計	備考																																
堺市立健康福祉プラザ	42,339	17,751	30,956	91,046	数値は平成29年実績																																
大阪府立障がい者交流促進センター（フインテア 大阪）	61,338	23,172	47,290	131,800																																	
大阪市長居障がい者スポーツセンター	47,850	39,577	59,311	146,738	体育室利用者は小体育室を除く																																
大阪市舞洲障がい者スポーツセンター（7ミナ舞洲）	57,872	33,563	24,799	116,234	体育室はアリーナ使用者数																																
オーグスポーツ神戸福祉スポーツセンター	44,062	16,725	36,035	96,822																																	
<small>健康福祉プラザ類似施設比較表（スポーツセンター）</small> <small>（単位：人）</small> <small>※スポーツセンター協議会資料より抜粋。堺市立健康福祉プラザ以外の施設利用者数は平成28年度のもの。</small>																																					

2 管理運営状況

(1) 特筆すべき事項(地域貢献等の実績、取組、成果等)

障害のある方をはじめ、多くの市民がプラザを知り、利用者になっていただけるように、障害種別・程度、年齢等に配慮し、さまざまな媒体・手法を用いた、きめ細やかな情報発信(広報紙、ホームページ、目で見える広報、国立がん研究センターと連携した医療情報図書コーナー等)に取り組んでいる。障害の有無に関わらず、誰もが参加しやすいイベント(春のプラザ祭りやプラザアートフェスティバル等)や、市民の関心が高い講演会等を開催することにより、より多くの市民に来館していただける機会の創出に取り組み、年々、利用者数も増加している。

プラザ内では、プラザ指定管理者(共同事業体)が中心となり、行政機関・ベルデさかい・特定団体との情報共有や、諸課題についての連携・協力体制を構築し施設の管理運営を行っている。

(2) 利用者サービス

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者名	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団共同事業体	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団共同事業体	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団共同事業体	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団共同事業体	堺市社会福祉事業団・堺障害者団体連合会・フィットネス21事業団共同事業体
ア 利用者数 (人)	95,138	107,660	110,612	113,674	/
イ 稼働率 (%)	専用使用30.4	専用使用31.1	専用使用36.7	専用使用33.0	
ウ 利用者満足度 (%)	85.2	82.0	80.9	82.5	
「利用者サービス」における市による状況分析	<p>第1期指定管理期間は、「利用者アンケート調査の満足度回答者の80%以上が『とても良い』『良い』」の目標を5年連続で達成したため、平成29年度(第2期指定管理期間)からは目標値を85%以上と高く設定した。</p> <p>平成29年度は、新しい目標数値を下回る結果となったが、前年度の数値は上回っている。以上のことから、利用者サービスの質や満足度は低下していないことがわかるため、指定管理者による利用者サービス向上の意識の高さが評価される。</p> <p>ただ、さらなる満足度向上を目指すために、利用者ニーズの把握、研修等を通じた職員の専門性や支援技術等の向上、それに伴う業務改善・事業等の充実に努めること。</p>				

(3) 収支状況(単位:円)

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度(予算)
ア 収入	指定管理料	369,243,000	392,395,000	401,428,000	388,438,000	397,578,000
	利用料金	0	0	0	13,466,200	12,790,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他収入	43,060,922	52,752,380	49,583,339	47,382,561	51,881,000
合 計		412,303,922	445,147,380	451,011,339	449,286,761	462,249,000
イ 支出	人件費	262,125,720	267,803,258	280,510,739	285,420,690	306,684,000
	委託料 ()内は総支出額に占める委託料の割合	47,323,540 (11.2%)	46,799,928 (11.0%)	46,662,175 (10.7%)	45,993,493 (10.7%)	46,910,000 (10.1%)
	その他経費	112,512,326	108,952,607	109,064,989	99,544,750	108,655,000
合 計		421,961,586	423,555,793	436,237,903	430,958,933	462,249,000
利用者一人当たりの支出額		4,435	3,934	3,944	3,791	—
ウ 収支差額		-9,657,664	21,591,587	14,773,436	18,327,828	0
エ 市への納付金の額		—	—	—	—	—
オ 徴収委託の場合の徴収額		11,590,650	12,737,150	12,998,050	—	—
「収支状況」における市による状況分析	<p>第2期指定管理期間に入り、各種事業の拡充等により、人件費、事業費が増加する傾向にある中、利用者サービスを低下させることなく効率的な施設の管理運営に取り組んでいる。光熱水費及び委託料の削減等に努め、安定的な施設運営が図られている。</p>					

3 目標管理、評価等

(1) 適正な管理運営の確保

目標管理	評価の指標	利用者の安全確保	(設定理由) 事故の件数を指標にすることにより、施設が適正な管理体制にあるかをわかりやすく把握するため。
	目標	有責事故発生件数 0件	(設定理由) 当施設は障害者が利用する施設であり、他の施設以上に安心・安全に配慮した施設の管理運営が求められるため。
	実績	有責事故発生件数 0件	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 常に施設利用者等にとって安全で安心して利用できる施設環境の維持向上に努めていた。
○施設管理運営の不備等による事故の件数			
		平成 28 年度	平成 29 年度
		0 件	0 件

平等利用、維持管理、人員配置、事故対応、安全・緊急時対策等に関する特記事項	緊急時・防犯・防災等への対応として各センターで「リスクマネージャー」を任命。消防計画や危機管理マニュアル等に基づき、全職員が常に高い意識を持ち、一丸となって適切に行動できるように、研修や消防訓練等を実施。
---------------------------------------	--

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	施設整備・管理に関する意見・要望が64件あった。トレーニングマシンの増設、更衣室内の環境整備等、特にスポーツセンターに対する意見・要望が多かった。対応できるものに関しては早急に対応・改善し、できかねるものには丁寧な回答で理解・協力を求めたため、年度当初には平均して毎月7件あった意見・要望が、年度末には平均3件にまで減った。
-----------------------	--

評価等	指定管理者の自己評価		市の評価	
	評価	A	評価	A
具体的な理由	平成29年度の施設管理や事業運営については、堺市健康福祉プラザ指定管理業務仕様書及び共同事業体が提案した基本事業計画書や平成29年度事業計画書に基づき、適正に実施するとともに、利用者に対しては、安全・安心かつ快適に利用していただけるよう努めた。 また、施設の保守点検等により、設備・備品の破損箇所がないかを確認する等、利用者の安全を最優先に施設維持管理に努めた。 事故件数は、男性更衣室で7月と11月の二度に亘ってロッカー荒らしによる盗難事件が発生したが、当施設管理者による過失はないと思われるので、結果として、事故ゼロの目標は達成できたと考える。(H24: 0件⇒H28: 0件⇒H29: 0件)	各センター連携のもと、事業の充実を図りながら安定的な管理運営に取り組んでいる。 第2期指定期間に入り、設備・備品に少しずつ不具合が生じるなか、日々の点検を心掛け、有事の際には早急な市への報告を徹底して行い、利用者の安全確保に努めている。 避難訓練等にも力を入れており、平成29年9月5日に実施された「大阪880万人訓練」では、行政機関を含むプラザ内の他センターと連携し、職員、利用者が一体となって災害時の対応を学ぶなど、危機管理意識の高さがうかがえる。また、有事の際には地域とも密に連絡を取り合うなど、地域を巻き込んだ危機管理をすすめている点も評価できる。 施設利用者数が増加する中、安全な施設運営を心掛け、有責事故0件も継続できている。		
対応策等	常に利用者目線での施設運営に心がけるとともに、職員の資質、専門性の向上を図るべく、内部・外部の研修に積極的に取り組んだ。 また、偶発的な事故等にも適切に対応できるよう、共同事業体内の危機管理委員会を中心に、事故等の発生や、ヒヤリハット報告等に対して速やかに対応策を講じるなど、健康福祉プラザ運営協議会・共同防火管理協議会の開催や合同消防訓練の実施等を通じて、プラザ全体の危機管理・安全管理体制の維持・向上を図った。 次年度も引き続き、全職員が一丸となってチームプラザで安全管理に取り組むことにより、当共同事業体の責に帰すべき事故等の発生を防止する。	引き続き、利用者の安全・安心に配慮した施設管理運営の徹底を心掛けるとともに、施設の管理運営能力の更なる向上をめざし、他センターや地域との連携強化を図り、有責事故の発生防止や、有事の際の迅速・適切な行動に努めていただきたい。		

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの	

(2)利用者サービスの向上への取組

目標管理	評価の指標	各センターの事業成果	(設定理由) 指定管理業務の実施が利用者ニーズと合致しているか、わかりやすく把握できるため。																								
	目標	○市民交流センター 交流イベントの参加者数 年間2,500人以上 ○視覚・聴覚障害者センター センター利用者の満足度 85%以上 ○生活リハビリテーションセンター センター利用者の満足度 85%以上 ○スポーツセンター 堺市障害者スポーツ大会参加者数 平成29年度400人以上 以降、 年間25人以上増加	(設定理由) 利用者から高い満足度を得るため。																								
	実績	○市民交流センター 交流イベントの参加者数 2,622人 ○視覚・聴覚障害者センター センター利用者の満足度 79.6% ○生活リハビリテーションセンター センター利用者の満足度 88.9% ○スポーツセンター 堺市障害者スポーツ大会参加者数 429人	(分析) ※目標未達成時は詳細な原因分析 半数以上のセンターにおいて、目標設定を上回る事業成果をあげていることから、利用者サービスの質の高さ、イベント開催に係る回数の配慮・工夫や周知活動への注力が評価される。視覚・聴覚障害者センターにおいては、利用者満足度アンケートに対して「ふつう」という回答が多かったことから、目標設定を下回る結果となったことが推測される。今後、満足度向上に努めていただきたい。																								
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○市民交流センター（交流イベント参加者数）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○視覚・聴覚障害者センター（利用者満足度）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 28 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 29 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 28 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 29 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2,428 人</td> <td style="text-align: center;">2,662 人</td> <td style="text-align: center;">未実施</td> <td style="text-align: center;">79.6%</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">○生活リハビリテーションセンター（利用者満足度）</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">○スポーツセンター（堺市障害者スポーツ大会参加者数）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">平成 28 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 29 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 28 年度</td> <td style="text-align: center;">平成 29 年度</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">未実施</td> <td style="text-align: center;">88.9%</td> <td style="text-align: center;">395 人</td> <td style="text-align: center;">429 人</td> </tr> </table>				○市民交流センター（交流イベント参加者数）		○視覚・聴覚障害者センター（利用者満足度）		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	2,428 人	2,662 人	未実施	79.6%	○生活リハビリテーションセンター（利用者満足度）		○スポーツセンター（堺市障害者スポーツ大会参加者数）		平成 28 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	未実施	88.9%	395 人	429 人
○市民交流センター（交流イベント参加者数）		○視覚・聴覚障害者センター（利用者満足度）																									
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 29 年度																								
2,428 人	2,662 人	未実施	79.6%																								
○生活リハビリテーションセンター（利用者満足度）		○スポーツセンター（堺市障害者スポーツ大会参加者数）																									
平成 28 年度	平成 29 年度	平成 28 年度	平成 29 年度																								
未実施	88.9%	395 人	429 人																								
利用者サービス、利用促進、自主事業、人権尊重に配慮した情報提供、利用者意見・要望の反映等に関する特記事項		職員一人ひとりが研修参加やOJTを通じて必要とされる基本的知識や専門的技術等を習得し、指定管理者の職員としてふさわしい「資質」や「専門性」等の向上に取り組む利用者サービスの向上をめざしている。また、意見や要望等を申し出しやすいように、来館、電話、FAX、電子メール、意見箱への投書等様々な方法により受け付けている。																									
利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応		利用者アンケートの実施や意見箱の設置により、プラザ全体のニーズ把握並びに施設運営の改善に役立っている。スタッフの対応が良好で気持ちよく利用している等の声をいただいております。利用者との日頃からのコミュニケーションの中で生の声をお聞きすることを重視している。																									

		指定管理者の自己評価	市の評価
評価等	評価	B	B
	具体的な理由	<p>○市民交流センターについては、春のプラザ祭りをはじめとする交流イベントを年間5回開催し、目標参加者数を達成することができた。障害者週間フェスティバルでは、利用者アンケートのご意見を反映し、今年度から障害者週間期間中の1日を本イベント、本イベント前はプレイベントとして取組んだ。期間中何かしらのイベントを行ったことで、より多くの参加者が訪れることとなった。</p> <p>○視覚・聴覚障害者センターについては、センター利用者満足度が79.6%で目標達成には至らなかった。回答者の声を検証し、交流サロンやみみサロン等の企画を充実させ、満足度を高める事業運営を図っていく。</p> <p>○生活リハビリテーションセンターについては、利用終了時に満足度調査を行い、リハビリ・相談等、個々の利用者に適したサービスができたことが、満足度に繋がったものと思われる。</p> <p>○スポーツセンターについては、事業周知に取組んだ結果が、参加者人数に反映されることとなった。大会参加者の多くが、大会終了後、当センター主催の練習会に参加したり、プラザの利用者になる等、スポーツを始める・継続するきっかけづくりに貢献することができた。</p>	<p>各センターともに、利用者の生の声を大切にし、要望等に適宜対応したことが評価される。視覚・聴覚障害者センターに関しては、目標数値をわずかに下回っているため、更なる利用者サービス向上に努めてもらいたい。</p> <p>なお、第1期指定期間を通じて築いた人脈や繋がりをイベント開催の周知活動に活かし、イベント参加者数を順調に増やしている点も評価できる。</p>
	対応策等	<p>○交流イベントは、プラザをより知っていただく機会でもあるので、「参加して楽しかった」と思ってもらえる参加型・体験型の企画を検討していく。また、イベントのテーマに偏りが出ないように、中長期的な見通しのもと事業に取り組んでいく。</p> <p>○企画の立案については、利用者の声を大切に、また視覚障害者の外出機会をより多く提供できるように広報のあり方を工夫するとともに、当センター利用者以外にも情報提供できるようにしていく。</p> <p>○アンケート回収率が、65.9%で全ての退所者からの調査ができていないので、利用途中で通所を終えた方への徴収の仕方を検討していく。</p> <p>○広報誌の発行やSNS等の媒体を通して、障害者スポーツの周知を広める。イベント等の機会を活用して、障害者スポーツに触れる機会を積極的につくっていく。</p> <p>○今後も利用者アンケートの実施や意見箱の設置により、利用者ニーズの把握並びに施設運営の改善に役立て、また、利用者との日頃からのコミュニケーションを通じて、生の声をお伺いすることを重視する。</p> <p>また、日頃から親切、丁寧な対応を心掛け、公平・公正な施設運営に努めるとともに、よりきめ細やかなサービスの提供に向け、チームプラザで一丸となって取り組んでいく。</p>	<p>これまでの実績やノウハウ等を活かしながら、引き続き、アンケート調査などによるニーズの適切な把握に努めるとともに、職員の質等の向上や、意見・要望に対する迅速かつ誠実な対応を心掛け、利用者には喜ばれるサービスの提供に取り組まれない。</p> <p>また、イベントを成功させるうえで欠かせない「参加者」を更に増やしていけるように、今後も周知活動に力を注いでいただきたい。</p>

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの

(3) 収支の実績

目標管理	評価の指標	経費の節減	(設定理由) 利用者サービスの向上に取り組みながら、経費削減を図り、安定した施設運営を実現するため。
	目標	収支計画からの支出削減 1%	(設定理由) 事務事業執行体制を見直し、利用者サービスを低下させず、事業コストの軽減を図るため。
	実績	収支計画からの支出削減 5%	(分析) 施設の効率的な運用により経費削減に努め、収支計画書対比で支出を5%削減することができた。 ※目標未達成時は詳細な原因分析

○平成29年度収支状況(収支計画との比較)

		平成29年度	
		収支計画	収支報告
収入	指定管理料	388,438,000	388,438,000
	その他収入	65,769,000	60,848,761
	合計	454,207,000	449,286,761
支出	人件費	298,588,000	285,420,690
	管理費	155,619,000	145,538,243
	合計	454,207,000	430,958,933
収支差額		0	18,327,828

収入増加のための取組、収支状況、経営状況、経理事務等に関する特記事項	施設全体で、快適な環境を保ちつつ、空調の一括管理を推進することで、省エネに取り組んだ結果、支出を削減した。
------------------------------------	---

利用者等からの意見、要望、苦情等とその対応	引き続き、効率的、効果的な事業運営に取り組み、経費削減を図りつつ、利用者には喜ばれる施設をめざす。
-----------------------	---

	指定管理者の自己評価	市の評価
評価	A	B
具体的な理由	平成29年度事業費の支出額は、年度当初に策定した収支計画対比で約5%削減することができ、年度当初目標の1%を上回った。 人件費の削減については、常勤職員の欠員によって生じた部分もあるが、事業費や事務費についても同様に支出削減することができた。 今年度から利用料金制が導入されたことにより、徴収事務委託費が削減されたため、市民交流センターとスポーツセンターの利用者の受付事務の合理化を推進したことにより、人件費の削減を図ることができた。 なお、受付事務を合理化したことにより、利用者からの苦情等が寄せられることは、幸いなかった。	目標としていた収支計画書からの経費1%以上の削減を達成することができた。これは常勤職員の欠員によって生じた部分も含んでの結果ではあるが、利用料金制度の導入により、受付事務の合理化を推進し、事業費を削減するなど、おおむね評価できるものである。
対応策等	第2期指定期間も基本計画書及び年度事業計画書に基づき、これまでの実績やノウハウを活かしながら、「利用者サービスの向上」と「安定的な事業運営」に重点を置き、適切かつ効率的な事業運営に取り組む。利用者の快適な利用空間を確保しながら、積極的に節電・節水・省エネルギーに取り組むことにより、使用量及び光熱水費の削減に努める。なお、空調管理については、設定温度の一元化を基本としつつ、利用者や職員にとって、快適に過ごせる環境となるよう柔軟な対応を行う。 堺市とも協議・検討しながら、機器類のメンテナンスを計画的に実施することにより、施設維持における耐用年数の伸長に取り組む。	事業計画に基づいた適切な人員配置と事業執行を前提とした上で、これまで蓄積したノウハウや専門性を発揮しながら、より効率的な事業運営、施設管理に取り組み、経費削減を実現してもらいたい。

評価基準	S	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を大幅に上回り(120%以上)、かつ前年度実績を上回る成果があり、特に優れているもの
	A	効率的又は効果的な管理運営に資する具体的な業務改善等の取組みを行い、仕様書で求める目標や水準を上回り、かつ前年度実績を上回る成果があり、優れているもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の成果があり、適正なもの
	C	仕様書で求める目標や水準を下回り、努力が必要なもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要なもの